

SRNX1 Bluetooth® Bluetooth® 付き
SRNX1x Bluetooth® なし

EN019U001 (2206S-CS)

当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
 本機の機能を十分に発揮させるためにも、この取扱説明書をよくお読み
 のうえ、正しくお使いください。

本機をご使用になる前に

本機を使用する前には必ず、以下の契約と設定をお買い上げの販売店
 にご依頼ください。

● **NTT ドコモとの回線契約**

本機は NTT ドコモの LTE 回線を使用して通信を行いますので、
 ご使用になる前に回線契約が必要です。

● **同時通話（複信方式） / 交互通話（単信方式）**

本機の通話方法は、電話のように自然に話することができる“同
 時通話”または、PTT を押しながら話をして、相手の声を聞くと
 きは PTT を放す“交互通話”のどちらかを選択できます。

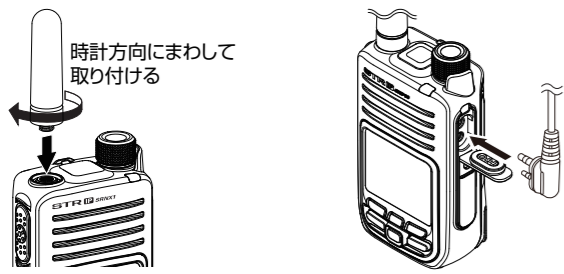
● **ホームグループ / グループ / 個別宛先**

本機の通信相手として、自分が所属する“ホームグループ”とそ
 の他の“グループ”、“個人の宛先”の登録をして、必要に応じて
 グループを切り替えて通話をすることができます。

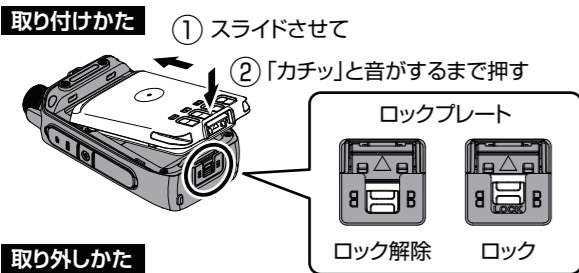
付属品 / オプションの取り付けかた

アンテナ / オプションマイクの取り付け

注意 アンテナを外した状態で送信しないでください。送信回路が破損
 することがあります。

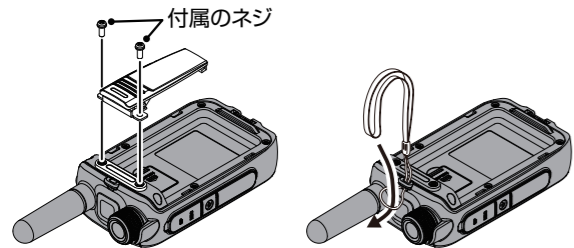


リチウムイオンバッテリーの取り付け / 取り外し



ベルトクリップ / ハンドストラップの取り付け

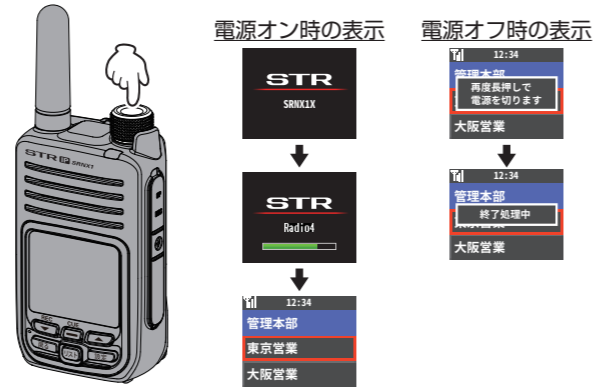
ベルトクリップは、必ず付属のネジを使用して取り付けてください。



電源のオン / オフ

電源オン：本体上面のツマミを画面が点灯するまで押し続けます。
 回線に接続して通信ができるようになるまで約 40 秒程度
 かかります。

電源オフ：1. 本体上面のツマミを押し続け“再度長押しで電源を切
 ります”が表示されたら放します。
 2. “再度長押しで電源を切ります”が表示されている間に、
 本体上面のツマミを“終了処理中”が表示するまで押
 し続けます。

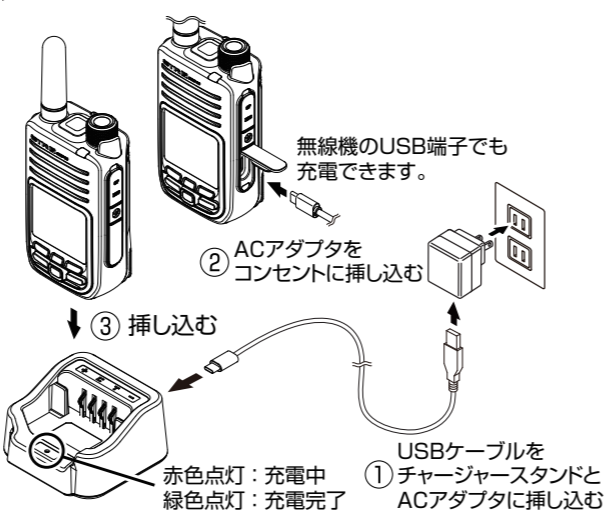


充電のしかた（充電時間は約 5 時間※¹）

オプションのシングル充電器または連結型ツイン充電器で充電しま
 す。また、パソコンと接続して充電※²することもできます。

※ 1：バッテリーを使い切った場合の充電時間の目安です。
 ※ 2：充電時間は充電器での充電より長くなります。

注意 ・ +5℃ ~ +35℃ の温度範囲内で充電してください。
 ・ 充電が完了したら無線機を充電器から取り外してください。



**誤ってキーを押しても動作しないように
 キーの動作をロックする**

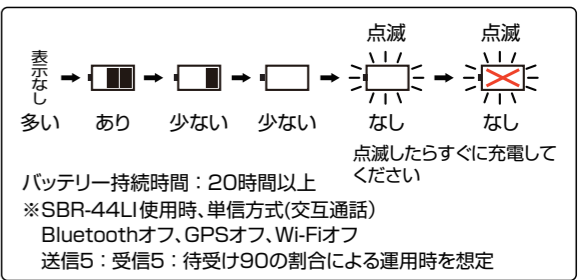
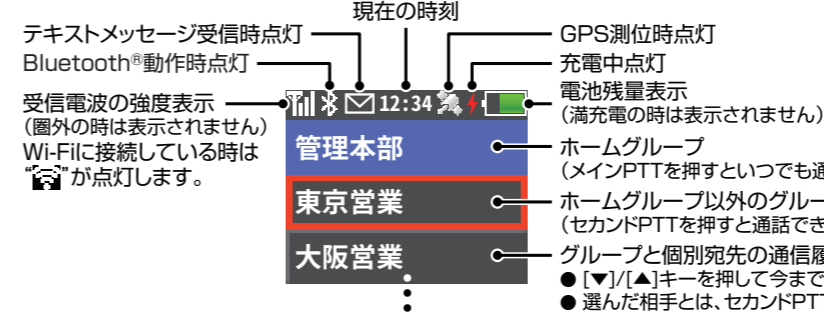


約 1 秒間“ロック”が点灯してロックされます。
 ロックを解除するには、もう一度 [戻る] キーを長押しします。
 約 1 秒間“ロック解除”が点灯してロックが解除されます。

補足 メイン PTT、セカンド PTT、音量調節ツマミもロックするこ
 とができます。必要な場合は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

各部の説明

下の画面表示は、自分が所属している“管理本部”をホームグループにして、
 その他必要に応じて通信を行う“東京営業”や“大阪営業”のグループが
 登録されている時の表示例です。
 本機を使用する前には必ず、これらのグループのメンバー登録をお買い上げの
 販売店にご依頼ください。



メイン PTT

画面一番上の青色のホームグループで通信する

いつでもメイン PTT を押して話だけで画面の一番上に
 青色で表示されている“ホームグループ”との通話ができ
 ます。

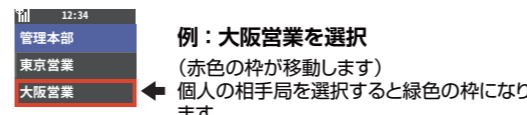


メイン PTT を押して話することで、相手が話をしている
 中でも電話のように通話（同時通話）ができます。
 ● 複数の相手と同時通話をすることができます。
 ● 連続送信が 5 分続くと、自動的に送信を停止します。

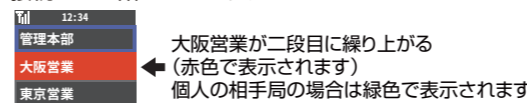
セカンド PTT

ホームグループ以外のグループや個人の相手と通信する

① [▼]/[▲] キーを押してグループや個人の相手局を選ぶ



② セカンド PTT を押して話すと、大阪営業のグループに
 接続されて話ができます。



相手が話をしている中でも、電話のように通話（同時
 通話）ができます。
 ● 複数の相手と同時通話をすることができます。
 ● 連続送信が 5 分続くと、自動的に送信を停止します。

－ (CUE) キー

短押し：あらかじめ設定した機能を決定する時に押します。
 長押し：グループのメンバーに、重要な連絡をアラームと表示で通知します (CUE 機能)。

▼ (REC) キー

短押し：グループや項目選択時、下方向に変わります。
 長押し：受信音声を録音・再生することができます。
 操作方法は裏面に記載の“相手の声を録音・
 再生する”を参照してください。

▲ キー

短押し：グループや項目選択時、上方向に変わります。
 長押し：個人リストが表示されます。[▼]/[▲] キーで個人の相手局を選び
 セカンド PTT を押して通話します。

戻るキー

短押し：一つ前の画面に戻ります。
 長押し：各キーを押しても動作しないようにロッ
 クします。もう一度長押しするとロックは
 解除されます。

設定キー

短押し：送信・受信の履歴やあらかじめ登録してあるテキストメッセージ
 (最大 10 種) の送信、受信したテキストメッセージを見ることができ
 ます。操作方法は裏面に記載の“送信履歴 / 受信履歴から通信先を選
 ぶ”または“テキストメッセージの送信・受信”を参照してください。
 長押し：無線機の設定を行う設定画面が表示されます。

リストキー

長押し：ホームグループを変更できます。長押ししてからグループを [▼]/[▲] キーで選び [－] キーを短押しします。詳しくは裏面に記載の“画面
 一番上のホームグループを変更する”を参照してください。選んだホームグループとは、いつでもメイン PTT を押すだけで通話できます。
 短押し：ホームグループ以外のグループを変更できます。短押ししてからグループを [▼]/[▲] キーで選び [－] キーを短押しします。詳しくは、
 裏面に記載の“通信履歴にないグループを選んで通信する”を参照してください。選んだグループとは、セカンド PTT を押して通話します。

電源 / 音量調節ツマミ

● 長押しして電源をオン / オフします。
 ● 左右にまわして音量を調節します。

LED ランプ

赤色点灯：送受信中 (同時通話時) 送信中 (交互通話時)
 緑色点灯：受信中
 黄色点滅：CUE 信号受信時
 赤色点滅：ローバッテリー (充電してください)
 電源オフで充電中の時
 ※充電器で充電中は点灯
 しません。
 赤色点灯：充電中
 緑色点灯：充電完了

オプション接続端子

オプションのタイピンマイク、スピーカーマイクを
 接続します。

USB (Type-C) 端子

パソコンや USB 充電器で充電することができます。

マイク

PTT の動作について

PTT の動作は、下記のどちらかを選択できます。
 ● 一度押しと、それ以降は PTT を放しても送信を保持して通話ができ、もう一度
 押しと送信が終了するワンタッチ動作 (トークスイッチ)。
 ● 押ししている間だけ送信、放すと送信を終了します (プレス ツー トーク)。

以下の操作で設定します。

- [設定] キーを長押し → [▼]/[▲] キーで“PTT 設定”を選ぶ → [－] キーを押す
- [▼]/[▲] キーで“トークスイッチ”または“プレス ツー トーク”を選ぶ
- [－] キーを押す → [戻る] キーを押す

画面一番上のホームグループを変更する

画面の一番上に青色で表示されている“ホームグループ”を変更できます。

補足 グループのメンバーの登録・変更は、設定ソフトでプログラムします。必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ① [リスト] キーを長押し
- ② [▼]/[▲] キーを押してグループを選ぶ
例：東京本部を選択（赤色の枠が移動します）
- ③ [-] キーを短押しして終了
東京本部に変更される

ホームグループ以外のグループや特定の個人と通信する

“ホームグループ”以外のグループや特定の個人との通信も、通信履歴から宛先を選んでセカンド PTT を押すだけで通信できる“フリップ・フロップ機能”で簡単に行えます。選択した接続先は表示場所が繰り上がり、現在接続されていることが確認できます。通信履歴にないグループや個人の相手も、リストから選んで簡単に通信することができます。

補足 グループのメンバーや個人宛先の登録・変更は、設定ソフトでプログラムします。必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

通信履歴にないグループを選んで通信する

グループリストから接続先を選んでセカンド PTT を押すだけで通信できます。

- ① [リスト] キーを短押し
- ② [▼]/[▲] キーを押してグループを選ぶ
例：仙台営業を選択（赤色の枠が移動します）
- ③ [-] キーを短押し
仙台営業に変更される
- ④ セカンド PTT を押しながら話す

・相手が話している最中でも、セカンド PTT を押して話すと同様に通話（同時通話）ができます。
・複数の相手と同時通話をすることができます。

通信履歴にない個人局を選んで通信する

個人リストから接続先を選んでセカンド PTT を押すだけで通信できます。

注意 圏外または電源をオフにしている相手局はグレーで表示されず選択できません。

- ① [▲] キーを長押し
- ② [▼]/[▲] キーを押して個人を選ぶ
例：佐藤を選択（赤色の枠が移動します）
- ③ [-] キーを短押し
佐藤に変更される（緑色で表示されます）
- ④ セカンド PTT を押しながら話す

・相手が話している最中でも、セカンド PTT を押して話すと同様に通話（同時通話）ができます。

便利な機能

グループ内に合図を送る (CUE 機能)

重要な連絡をグループのメンバーにアラームによって通知できます。例えば対面の接客中であっても、接客相手に知られずにグループ内に合図を送ることができます。

補足 アラーム音（3種類）と音量の変更は、設定ソフトでプログラムします。必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

[-] キーを長押しするだけで現在選択しているグループや個人に CUE 信号を送信します

CUE 信号を受信すると黄色点滅

ビロロッ!

CUE 送信者

CUE 受信者

相手の声を録音・再生する

残しておきたい要件（受信音声）を録音することができ、いつでも再生して内容を確認することができます。

相手の声を録音する（最大5件）

補足 録音時間（15秒/30秒/60秒）の変更は、設定ソフトでプログラムします。必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ① [▼] キーを長押し
- ② [▼]/[▲] キーを押して“録音”を選ぶ
録音を選択
- ③ [-] キーを押すと録音開始
録音経過時間
あらかじめ設定してある録音時間が経過すると録音は停止します。
- ④ [▼] キーを長押しして録音停止

録音した音声を再生・消去する

- ① [▼] キーを長押し
- ② [▼]/[▲] キーを押して“再生”を選ぶ
再生を選択
- ③ [-] キーを押すと最新の録音内容を再生
録音された日時
- ④ [-] キーを押すと再生を停止
- ⑤ 再生中に [▼]/[▲] キーを押すと他の録音内容を再生

録音した音声を消去する

1. 再生中に [▼] キーを長押し
2. [▲] キーを押して“はい”を選択
3. [-] キーを押すと消去されます

テキストメッセージの送信・受信

あらかじめ登録されたテキストメッセージ（最大10件）を送受信できます。音声で連絡ができない場合に返信メッセージとして相手に伝えることができます。受信したメッセージは記録されますので、後から確認することができます。

補足 テキストメッセージの登録・変更は、設定ソフトでプログラムします。必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

テキストメッセージを送信する

テキストメッセージは、現在選択しているグループや個人に送ることができます。

- ① [設定] キーを短押し
- ② [▼]/[▲] キーを押して“テキストメッセージ”を選ぶ
テキストメッセージを選択
- ③ [-] キーを押す
- ④ [▼]/[▲] キーを押してメッセージを選ぶ
例：連絡下さいを選択
- ⑤ [-] キーを押すとメッセージを送信

受信したテキストメッセージを見る

メッセージを受信すると点灯

- ① [設定] キーを短押し
- ② [▼] キーを押して“ログ”を選ぶ
ログを選択
- ③ [-] キーを押す
- ④ [▼]/[▲] キーを押してメッセージを選ぶ
メッセージを選択
- ⑤ [-] キーを押すとメッセージの内容を表示

送信履歴 / 受信履歴から通信先を選ぶ

送信および受信の履歴をリストで確認できます。リストで選んだ相手とは、簡単な操作で通信を開始することができます。

注意 ホームグループの送受信履歴は記録されません。

- ① [設定] キーを短押し
- ② [▼] キーを押して“ログ”を選ぶ
ログを選択
- ③ [-] キーを押す
- ④ [▼]/[▲] キーを押して履歴を選ぶ
例：鈴木を選択
赤(赤)：送信履歴
緑(緑)：受信履歴
- ⑤ [-] キーを押す
鈴木に変更される（緑色で表示されます）
- ⑥ セカンド PTT を押しして話す

Bluetooth® ヘッドセットを使う

Bluetooth®機能は SRNX1 でのみ使用できます。オプションの Bluetooth®ヘッドセット SSM-BT10 を使用して、ワイヤレスで通話を行うことができます。

1. SSM-BT10 のマルチファンクションボタンを3秒以上押し、マルチファンクションボタンを3秒以上押し
 2. [設定] キーを長押しします。赤と青の点滅になります
 3. “Bluetooth”が赤枠で選択されていますので [-] キーを押します。
 4. [▼] キーを押して“ON”を選び [-] キーを押します。
 5. ヘッドセットのリストが表示されたら [▼]/[▲] キーで SSM-BT10 を選び [-] キーを押します。
 6. ペアリングが完了すると、画面左上に“*”が点灯します。
 7. [戻る] キーを2回押すと、Bluetooth®ヘッドセットが使えるようになります。
- 送信する時は SSM-BT10 のマルチファンクションボタンを押してください。もう一度押すと受信に戻ります。

Wi-Fi に接続して通信する

NTT ドコモの LTE 回線の通話圏外でも、Wi-Fi を使用して通信することができます。

1. [設定] キーを長押しします。
 2. [▼]/[▲] キーを押して“Wi-Fi”を選び [-] キーを押します。
 3. [▼] キーを押して“ON”を選び [-] キーを押します。
 4. Wi-Fi のリストが表示されたら [▼]/[▲] キーで接続したい Wi-Fi を選びます。
 5. [-] キーを押すとパスワード入力画面になります。[▼]/[▲] キーで文字を選択して [-] キーで確定します。
- abc : 小文字入力画面になります。
ABC : 大文字入力画面になります。
123 : 数字および記号入力画面になります。
#%^ : 記号入力画面になります。
Space : カーソルの位置にスペースを入力します。
☒ : カーソルの左側の文字を消去します。
 6. [▼]/[▲] キーを押して“接続”を選び [-] キーを押します。
 7. コネクト完了画面が表示された後、Wi-Fi での通信ができるようになります。

設定モードの基本的な操作方法

本機を使用目的にあった状態でご使用いただくために、下表の設定をすることができます。設定は以下の方法で行います。

1. [設定] キーを長押しします。
2. [▼]/[▲] キーを押して設定したい項目を選んで [-] キーを押します。
3. [▼]/[▲] キーを押して希望の設定を選んで [-] キーを押します。
4. 設定が終わったら [戻る] キーを押して終了します。

Bluetooth® 機能の ON/OFF (SRNX1 のみ表示します) オプションの Bluetooth®ヘッドセット SSM-BT10 を使用して、ワイヤレスで通話を行うことができます。
Wi-Fi による通信 NTT ドコモの通話圏外でも、Wi-Fi を使用して通信することができます。
ノイズキャンセル機能 周囲の騒音を抑えて、明瞭な音声を送信することができます。
マイクゲインの設定 マイクの感度を“大きい”“標準”“小さい”から選択できます。
PTT の動作設定 (VOX は交互通話時のみ選択できます) フレッシュワーク: 押すと“送信”、放すと“受信”になります。 トークスイッチ : 一度押すと再び押すまで送信状態を保持します。 VOX : 話をすると自動的に送信状態になり、話をやめると自動的に受信状態に戻ります。
TX ビープの音量調節 送信開始時に鳴るビープ音の音量を“OFF”“大きい”“標準”“小さい”“ノブ連動” (音量調節ツマミに連動します) から選択できます。
RX ビープの音量調節 相手局の送信終了を知らせるビープ音の音量を“OFF”“大きい”“標準”“小さい”“ノブ連動” (音量調節ツマミに連動します) から選択できます。
キービープの音量調節 無線機を操作した時に鳴るビープ音の音量を“OFF”“大きい”“標準”“小さい”“ノブ連動” (音量調節ツマミに連動します) から選択できます。
GPS 機能の ON/OFF GPS 信号を受信して自分の位置情報を取得できます。
バックライトの点灯時間の設定 画面とキーの照明が点灯する時間を“15秒”“30秒”“60秒”“120秒”“常時点灯”から選択できます。
自局情報の表示 無線機に設定してある「Radio ID」「ユーザー名」「デフォルトグループ」「ネットワークの接続状態」「IMEI」「ソフトウェアのバージョン」を表示します。
リセット 無線機の設定を初期化して、お買い上げ時の状態に戻します。

携帯型業務用 IP 通信機 ーご使用になる前にー

SRNX1 Bluetooth® Bluetooth® 付き

SRNX1x Bluetooth® なし

EN019U071 (2205K-BC)

付属品

- ・リチウムイオンバッテリー (SBR-44LI)
- ・アンテナ
- ・ベルトクリップ (取付用ネジ2本付属)
- ・ハンドストラップ
- ・取扱説明書
- ・保証書

正しくご使用いただくために

- ◎通話する際は、マイクから約5センチ離して普通の声量で話してください。
- ◎本機にタイピンマイクやスピーカーマイクなどを接続する際は、必ず当社純正オプションを使用してください。当社純正品以外のオプションを使用すると、故障や破損の原因になります。
- ◎当社純正品以外のオプションの使用が原因で生じた故障や破損、および事故などの損害については、弊社では一切責任を負いません。
- ◎直射日光や熱風の当たる場所、水のかかる場所に放置しないでください。
- ◎周囲温度が極端に高い場所、または極端に低い場所での使用は避けてください。本機の動作温度範囲は、-10℃~+60℃です。
- ◎本機内部の点検・修理は、お買い上げいただきました販売店にご依頼ください。

防水性能について

本機は、IEC国際規格IP67相当(防塵等級6^{*1}、防水等級7^{*2})の防塵、防水性能を有しています。この性能を永く確保していただくために、必ず、ご使用になる前に下記の項目をご確認ください。

- ◎各キーのラバー、オプション接続端子カバー、USB端子カバーなどに、キズ、劣化、汚れがないか確認してください。
- ◎海水や砂、泥などが付いたときは、ケースが損傷していないことを確認した上で、真水の溜め水で濯ぎ、すぐに乾いた布で拭き取ってください。
- ◎本機の汚れを落とす際に、蛇口からの水を直接当てたり、高圧の洗浄機やエアダスターを使用したり、スチーム洗浄をおこなったりしないでください。
- ◎本機は、水中での使用はできません。
- ※1：粉塵の侵入から完全に保護されていること。
- ※2：真水/静水に水深1mの位置で30分間没しても機器の動作に影響をおよぼさないこと。

故障かな?と思う前に

間違った操作をしていませんか?修理を依頼される前にお確かめください。

- ◎電源が入らない!
 - ・バッテリーが消耗していませんか?
 - ➡ バッテリーを充電してください。
 - ・バッテリーの端子が接触不良になっていませんか?
 - ➡ 端子を綿棒などで拭いてください。
 - ・バッテリーが古くなっていませんか?
 - ➡ バッテリーの寿命です。当社純正の新しいバッテリーとお取り替えください。
- ◎送信できない!
 - ・PTT (またはセカンドPTT) を正しく押していますか?
 - ・PTT (またはセカンドPTT) がロックされていませんか?
 - ➡ [戻る] キーを長押ししてロックを解除してください。
 - ・送信禁止 (受信専用) の設定になっていませんか?
 - ➡ お買い上げの販売店にご相談ください。
- ◎音がでない!
 - ・音量調節つまみを右にまわして調節してください。
- ◎通話できない!
 - ・NTTドコモの通話圏外になっていませんか?
 - ➡ “Till” が点灯する場所に移動してください。
- ◎キー操作ができない!
 - ・キーを押した時ディスプレイに“ロック”が表示されませんか?
 - ➡ [戻る] キーを長押ししてロックを解除してください。

アフターサービス

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがお買い上げいただきました販売店にご相談ください。製品に関するお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、当社国内営業部までお願いします。

八重洲無線株式会社
〒140-0002

東京都品川区東品川2-5-8 天王洲パークサイドビル
TEL : 03-6711-4055

- ◎保証期間はお買い上げの日より3年間です。
本製品には保証書が添付されています。お買い上げいただいた日から3年以内に、取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料で修理をお引き受けします。
誤った使い方や過失などによる故障や破損は、保証期間中であっても有償修理の対象となる場合があります。
- ◎保証書は大切に保管してください。
保証書を紛失しますと、保証期間中に発生した故障でも保証期間が経過したものとして有償扱いにさせていただきますのでご了承ください。また、お買い上げ日・販売店名等の必要事項が記入してない保証書も無効扱いにさせていただきますので、お買い上げいただきました販売店名・お買い上げ年月日等が正しく記入されていることをご確認のうえ、大切に保管してください。
- ◎リチウムイオンバッテリーは消耗品のため保証対象外です。
化学的経年劣化なども保証対象外になります。
- ◎リチウムイオンバッテリーは消耗品です。
充放電を繰り返すと使用できる時間が徐々に短くなります。充電しても使用時間が極端に短くなった場合はリチウムイオンバッテリーの寿命です。

定格

無線通信仕様	: NTT ドコモ LTE
Wi-Fi仕様	: 802.11 b/g/n 2.4GHz帯
通信方式	: プレストーク方式、複信 (同時通話) 方式
低周波出力	: 1000mW 以上 (内蔵スピーカー 8Ω 10% 歪時) 1000mW 以上 (外部出力* 8Ω 10% 歪時) ※スピーカーマイク接続時
動作温度範囲	: -10℃~+60℃
電源 (定格)	: DC3.7V
本体寸法	: 約 W59 × H97 × D36 (mm) (SBR-44LI バッテリー装着時、突起物を含まず)
本体重量	: 約 220g (SBR-44LI、アンテナを含む)
Bluetooth®	: V4.2 BLE (SRNX1 のみ)
防塵・防水性能	: IP67*

- ※ バッテリー、アンテナ装着、オプション接続端子カバー、USB端子カバーを閉めた状態
- ・この定格は性能向上のため予告なく変更することがあります。
- ・RoHS 指令準拠

オプション

- 防水・防塵形スピーカーマイク.....SSM-23B
- スピーカーマイク (3.5φイヤホンジャック付) ..SSM-22B
- タイピンマイク (マイクケーブル長 約75cm) ...SMJ5001-L3.5/2.5
- タイピンマイク用イヤピース (ケーブル長 約50cm)
 - 耳かけ付きオープンエア型 (S) ...EP301 OAHLS-S2.5 (T50B)
 - 耳かけ付きオープンエア型 (L) ...EP302 OAHLS-S2.5 (T50B)
 - インイヤードオープン型.....EP401 IEO-S2.5 (T50B)
 - インイヤードフィット型.....EP501 IEF-S2.5 (T50B)
- タイピンマイク (マイクケーブル長 約75cm、イヤピースケーブル長 約50cm)
 - 耳かけ付きオープンエア型 (S) ...SMEP4001 OAHLS-L3.5/2.5
 - 耳かけ付きオープンエア型 (L) ...SMEP4001 OAHLS-L3.5/2.5
 - インイヤードオープン型.....SMEP4001 IEO-L3.5/2.5
 - インイヤードフィット型.....SMEP4001 IEF-L3.5/2.5
- Bluetooth® ヘッドセット (SRNX1 でのみ使用できます)
- リチウムイオンバッテリー (付属品と同等)
- シングル充電器 (ACアダプタ付属)
- 連結型ツイン充電器 (専用 ACアダプタが必要です)
- 連結型ツイン充電器用 ACアダプタ
- アルカリ単3形乾電池ケース
- シガープラグ付き DCアダプタ
USBケーブルを接続して車のシガーライターから充電できます。
- USBケーブル (USB Type-A - Type-C)
シガープラグ付きDCアダプタやパソコンのUSB端子に接続して充電できます。
- キャリングケース
- キャリングケース用ショルダーストラップ
- アンテナ (付属品と同等)

ご注意

● 2.4GHz 帯の電波干渉についてのご注意


本製品の Wi-Fi や Bluetooth® を使用して通信をするときは、以下のことに注意してください。

この通信の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。


- (1) この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- (2) 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変更するか Wi-Fi や Bluetooth® のご使用をお控えください。
- (3) その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社国内営業部（電話 03-6711-4055）にお問い合わせください。

● 本製品の Wi-Fi 及び Bluetooth® の使用周波数・変調方式・想定干渉距離・周波数変更の可否を以下に示します。

(1) Wi-Fi

2.4DS/OF4	「2.4」	: 2.4GHz 帯を使用する無線設備
	「DS」/「OF」	: DS-SS 方式 / OFDM 方式
	「4」	: 想定干渉距離 40m 以下
	「  」	: 全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局を回避可能

(2) Bluetooth®

2.4FH2	「2.4」	: 2.4GHz 帯を使用する無線設備
	「FH」	: FH-SS 方式
	「2」	: 想定干渉距離 20m 以下
	「  」	: 全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局を回避可能

● 本製品の比吸収率 (SAR) について

本製品は、国が定めた電波の人体吸収率に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、携帯型端末などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) について、これが 2W/kg[※] の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。本製品の値は 1.15W/kg です。この値は、国が定めた方法に従い、携帯型端末の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、本製品は、基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/index.html>

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の 2）で規定されています。

● 電波法についてのご注意

- ◎ 本製品は電波法に基いて技術基準適合証明 (工事設計認証) を受けた製品です。分解や改造をしないでください。
- ◎ 本製品を使用できるのは日本国内に限られています。本製品は、日本国内での使用を目的に設計・製造しています。したがって、日本国外で使用された場合、本製品及びその他の機器を壊すおそれがあります。また、その国の法令に抵触する場合がありますので使用しないでください。
- 自動車運転時のご注意
 - ◎ 安全運転のため、運転中に無線機を操作したり、無線機の表示部を注視 (表示部を見つづける行為) したりしないでください。
 - ◎ 無線機を操作、または表示部を注視する場合は、必ず安全な場所に自動車を停車させてください。
 - ◎ 安全運転に必要な外部の音が聞こえない状態で自動車を運転しないでください。一部の都道府県では、走行中にイヤホンやヘッドホンなどを使用することが規制されています。
 - ◎ 安全運転のため、無線機を身体に付けた状態で運転しないでください。

● 医療電気機器近くでの取り扱いについて

- 植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください
- ◎ 植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器の装着部位から 15cm 以上離して携行、および使用してください。電波により機器の作動に影響を与える場合があります。
- ◎ 身動きが自由に取れない状況など、15cm 以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本製品を使用しないでください。電波により機器の作動に影響を与える場合があります。
- ◎ 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
 - ・手術室、集中治療室 (ICU)、冠動脈疾患監視病室 (CCU) には本製品を持ち込まないでください。
 - ・病棟内では、本製品を使用しないでください。
 - ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品を使用しないでください。
 - ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示にしたがってください
- ◎ 医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合 (自宅療養など) は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波により機器の作動に影響を与える場合があります

● ご利用にあたって

- ◎ 説明書には、工場出荷時の標準的な設定での説明が記載されています。

● 免責事項

- ◎ 取扱説明書に記載の使用法とは異なる使用法により発生した故障、障害、損害について、当社は一切責任を負いません。
- ◎ 本機を使用して生じた障害や損害について、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いません。

Bluetooth® のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、八重洲無線株式会社はライセンスに基づいて使用しています。

本機には、Google Noto フォントを使用しています。
Copyright ©2014, 2015 Adobe Systems Incorporated (<http://www.adobe.com/>).
This Font Software is licensed under the SIL Open Font License, Version 1.1 (<http://scripts.sil.org/OFL>).


安全上のご注意 ~必ずお読みください~

本機を安全に正しくお使いいただくために、次のことに十分ご注意ください。

危険 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。


注意 誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。


行ってはならない禁止事項です (例  分解禁止)。


 必ず守っていただきたい注意事項です。


危険

-  **自動車を運転しながら交信や操作をしない**
事故の原因になるだけでなく、道路交通法違反になります。運転者が使用するときは、車を安全な場所に止めてからご使用ください。
-  **航空機内や病院内などの“使用を禁止された区域”では電源を切る**
電子機器や医療機器に影響を及ぼす場合があります。


 **引火性ガスの発生する場所や高所などの危険な場所で使用しない**
発火事故や落下事故などの原因になります。


 **電池が漏液して皮膚に付着したり、目に入ると危険**
化学火傷を起こすおそれがあります。直ちに医師の診断を受けてください。


 **電源端子やリチウムイオンバッテリーの端子にはんだ付けやショートをしない**
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運ばないでください。


 **リチウムイオンバッテリーを火のそばや、炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない**
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。

警告


 **分解や改造をしない**
本機は電波法に基づく無線局で使用される通信機器です。分解や改造は違法ですのでおやめください。また、ケガ等の事故や故障の原因になります。


 **自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない**
本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。


 **煙が出ている、変な臭いが出るときは電源スイッチを切って、リチウムイオンバッテリーを外す**
火災や故障の原因になります。お買い上げいただきました販売店にご相談の上、修理を依頼してください。


 **心臓ペースメーカー装着者に配慮し、人ごみでは電源を切る**
本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。


注意

 **指定以外のオプションを使用しない**
ケガの原因になります。また、本体の故障や破損の原因にもなります。

 **強い衝撃を加えたり、投げつけたりしない**
故障の原因になります。

 **リチウムイオンバッテリーを充電するときの温度範囲は 5℃ ~ 35℃ です**
これ以外の温度での充電は、故障の原因になります。

 **磁気カードなどを無線機に近づけない**
キャッシュカードなどの内容が消去されることがあります。

 **無線機を直射日光の当たる場所や熱器具の近くに放置しない**
変形や変色等の原因になります。

 **シンナーやベンジンなどでケースを拭かない**
変形や変色等の原因になります。ケースが汚れた場合には、乾いた柔らかい布か、濡れがひどい場合は水かぬるま湯で濡らしてから絞った柔らかい布で拭き取ってください。